

No.141



昭和51年12月15日創刊

宮城県登米農業改良普及センター
 ~人と技術が織りなす活力ある登米農業~

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5
 TEL (代)0220-22-6111 FAX 0220-22-7522
 E-mail: tmnokai@pref.miyagi.lg.jp
 URL: <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>



「V字ジョイント栽培」は作業の軽労化や早期成園化を可能にする最新技術で、登米市内の3人のりんご生産者がこの技術を導入しています。

「みやぎの気候変動に適応した農業技術情報サイト+」^{プラス}について

農業普及指導専門監 佐藤 郁

近年、記録的な猛暑や豪雨、暴風などの災害を引き起こす異常気象が頻発する傾向にあり、気候変動や異常気象に適応する技術開発が求められています。

県では、「みやぎ環境税」を活用しながら、気候変動にも耐えられる品種、品目や作型、栽培・飼養管理技術を開発するとともに、開発した技術の社会実装を加速させるため、ホームページ「みやぎの気候変動に適応した農業技術情報サイト+(プラス)」を開設し、気候変動に適応する技術として既に開発されたものだけでなく、現在実施中の試験研究も含めて情報発信しています。

成果情報では、地球温暖化など気候変動により発生
 の仕方が変わってしまった病害虫を、環境への負荷を低減しつつ抑える技術や、高温期のハウス内における

作業者の効果的な暑熱軽減対策などが紹介されており、実施中の試験研究では、今年のような夏の猛暑に対応できるような高温登熟性に優れた水稻品種の開発に関する研究や、もみ殻くん炭（バイオ炭）の施用が大豆畑の土壌や作物に与える影響の解明、気候変動により従来の作期では合わなくなった露地野菜の作型、品種、栽培方法の検討、大気中のCO2濃度に影響しないカーボンニュートラルな薪ボイラーをイチゴ栽培に利用するための研究など、作物、園芸作物、畜産に関連する数多くの研究中の情報が掲載されています。

また、気候変動に関する情報や県・国における温暖化対策、研修会等開催案内、関連する動画なども見ることがができますので、ぜひご覧ください。ホームページのURLは、裏面に掲載しております。

重点活動の紹介

No.1 地域における新たな担い手の確保・育成、女性農業者の活躍支援

地域農業の将来を担う新規就農者の確保・育成、並びに女性農業者の経営参画の促進・活躍支援を行っています。

○就農希望者への支援

就農希望者に対し、個別相談や毎月第2水曜日に開催されている登米市就農相談会において、円滑な就農につながるよう関係機関と連携しながら、栽培や経営に関する指導及び就農計画の作成等を支援しています。

○新規就農者への支援

新規就農者の技術レベルに合わせ、個別巡回による指導の他、登米市サポート巡回や登米農業マイスターによる先輩農家からの指導の機会を設けるなど、新規就農者の技術力・経営力の向上に繋がるよう支援しています。また、新規就農者に共通する課題解決に向け、「みやぎ農業未来塾」を定期開催しています。

○女性農業者への支援

女性農業者のスキルアップやネットワークづくりを目的に、女子農業者向けのセミナー等を開催しています。



登米農業マイスターによる指導

No.2 登米地域園芸重点品目の生産振興

みやぎ園芸振興戦略プランの「登米圏域戦略プラン」に掲げる重点振興品目の生産振興のため、技術支援等を行っています。

○環境制御技術を使った施設きゅうりの生産振興

若手生産者を対象に、CO₂発生装置や環境モニタリング機器を活用した栽培管理技術の向上やデータ共有を支援しています。

○ピーマンの産地育成支援

令和3年から新たな野菜品目としてピーマンの作付拡大に向けた取組が進められており、JAと連携した講習会・現地検討会の開催により、安定生産を支援しています。

○りんごの新規栽培技術導入支援

管理作業の省力・軽労化や早期成園化が見込める“ジョイントV字樹形”の技術導入を支援しています。



ピーマン現地検討会

No.3 地域計画策定に向けた担い手農業者等の意見集約支援

人・農地プランの法定化により、各市町村では令和7年3月末までに、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を定めることとなっています。

○実施体制の構築支援

登米市では、9つの旧町域単位で「地域計画」の策定に取り組むこととしていますが、旧町域が広いため関係機関の連携が重要となります。普及センターでは、各関係機関が効率的に連携できる実施体制となるよう支援しています。

○意見集約等の円滑化支援

地域計画策定では、ワークショップ参加者の主体的な参画のもとで課題解決のための積極的な話し合いが行われることが重要です。そのため、普及センターではリラックスした雰囲気のもとで円滑な話し合いが進行されるよう関係機関と連携して支援することとしています。



協議の場（ワークショップ）

JAみやぎ登米アグリフェスタで「グリーンな栽培体系」を紹介!

令和3年5月に農林水産省が発表した「みどりの食料システム戦略」を受けて、令和4年度、JAみやぎ登米が中心となり、グリーンな栽培体系（農薬、化学肥料の削減やプラスチック被覆肥料対策と省力技術のどちらも取り入れた栽培体系）の検証を行いました。

令和5年度は、関係機関及びJAみやぎ登米稲作部会連絡協議会の協力のもと、普及センターのプロジェクト課題としてグリーンな栽培体系の検証に取り組んでいます。

グリーンな栽培体系のPRを目的とし、10月15日に登米祝祭劇場で開催されたJAみやぎ登米アグリフェスタにおいて、グリーンな栽培体系や、展示ほの調査結果等をリーフレットとパネルで紹介しました。

当日は、あいにくの雨と低温で外を歩く人も少なめでしたが、ブースを訪れた来場者には、ペースト二段側条施肥のしくみやプラスチックを使わない肥料、流し込み施肥の方法や、慣行の約1/3に窒素を減らしても慣行栽培と同等の生育となっていることなどを説明しました。

来場者からは、「ペースト肥料栽培では追肥はどうするのか」、「それぞれの肥料の価格はいくらか?」、「なぜ肥料を減らしても生育が変わらないのか?」といった質問や、「環境問題の視点から、プラスチックを使わない肥料での取組を進めてほしい」といった意見もいただきました。

ブースには地元の中学生3人も来場、取組を説明しました。中学生からは「プラスチックでコーティングされている肥料があることは知らなかった」という話があり、広く情報を伝える重要性を感じました。

今年度の検証結果をもとに、今後も様々な機会を通じてグリーンな栽培体系のPRを行っていききたいと思います。



来場者にパネルの内容を説明



配布したリーフレット

農業における経営継承研修会を開催しました!

令和5年8月24日、登米合同庁舎を会場に「農業における経営継承研修会」を開催しました。

当日は管内の農業法人や関係機関など約30人が参加し、事業承継士の村上一幸氏から、経営継承の課題と対応、進め方について講演をいただきました。

講師からは「負債等のマイナスの情報も後継者に伝えることが大切」、「ただ引き継ぐのではなく、経営の課題を継承計画に盛り込み対応することが重要」、「経営継承は当事者だけでなく家族を巻き込んだ話し合いが必要」などのポイントの他、土地などの財産の継承方法、第三者に経営を引き継いだ実例についても紹介していただきました。参加者はメモを取って熱心に受講し、休憩時には直接質問をする参加者もあり、経営継承に対する関心の高さがうかがえました。



経営継承のポイントを説明

高病原性鳥インフルエンザの発生を防ぐため、鶏舎へ野生動物の侵入防止と消毒を徹底しましょう!!

女性農業者移動研修会を開催しました!

令和5年9月1日に女性農業者移動研修会を開催し、登米地区農村生活研究グループ連絡協議会やアグリレディースネットとめ、登米市農産加工者連絡協議会に所属する女性農業者17人が参加しました。

今回の移動研修会では、JRフルーツパーク仙台あらはまやアクアイグニス仙台、もろやファームキッチンを見学しました。

JRフルーツパーク仙台あらはまでは、なし及びぶどうの摘み取り体験を行いました。東日本大震災後、防災集団移転跡地を活用して開園した農場では、V字ジョイント栽培を採用しており、参加者は栽培方法について熱心に様々な質問をしていました。その後、アクアイグニス仙台でマルシェ等の農業関係施設を見学した後、もろやファームキッチンにてオーナーから自家農園と農家レストランのこだわりについて講話いただきながら、自家野菜を使った料理を堪能しました。

参加者からは「仙台圏における消費者への商品提供の仕方が勉強になった」、「身近な野菜の調理方法について参考になった」との感想が聞かれ、充実した研修会となりました。



JRフルーツパークでの果物狩り

令和5年度宮城県花き品評会・ 令和5年度宮城県農林産物品評会(うるち玄米部門) ～各賞受賞おめでとうございます!～

令和5年10月22日に宮城県花き品評会が、令和5年11月13日～14日に宮城県農林産物品評会(うるち玄米部門)が県庁で開催されました。

登米管内からは花き13点、うるち玄米部門14点が出品され、審査の結果、下記6点が入賞しました。受賞されました皆様にお祝い申し上げます。また、品評会に御出品いただきました皆様、御協力ありがとうございました。



出品者：若葉園芸



出品者：佐藤武志

部門	品目名	品種名	順位	地域	氏名(敬称略)	備考
花き	スプレーぎく	セイエスター	金賞	中田	佐藤武志	宮城県園芸協会会長理事賞 株式会社石巻花卉園芸代表取締役社長賞
花き	ニオイザクラ	ココ	金賞	迫	若葉園芸	仙台中央卸売市場花卉仲卸協同組合理事長賞
花き	スプレーぎく	パステラローズ	銀賞	東和	石坂真紀	
花き	きんぎょそう	オーパスイエロー	銀賞	中田	菅野成雄	
花き	きんぎょそう	レジスノー	銀賞	南方	庄司和	
水稻	うるち玄米	ひとめぼれ	10席	米山	鈴木正孝	宮城県知事賞(3等)

オープンラボからのお知らせ

○みやぎの気候変動に適応した農業技術情報サイト+

地球温暖化等の気候変動や異常気象に適応した生産管理技術を紹介しています。

URL: <https://www.kankyou-marc.jp/>



○普及センターのLINE公式アカウント

農業技術や病害虫発生予察に関する最新情報、セミナー・研修会の開催案内などを配信しています。

